

愛知県消防学校の概要



令和 8 年 6 月

愛知県消防学校

愛知県消防学校

1 設置目的

愛知県内の市町村(名古屋市を除く。)の消防職団員や自衛防災組織員等に対し、消防防災に関する教育訓練を行う。

2 設置根拠

消防組織法(昭和22年12月23日法律第226号)第51条

(消防学校等)

都道府県は、財政上の事情その他特別の事情のある場合を除くほか、単独に又は共同して、消防職員及び消防団員の教育訓練を行うために消防学校を設置しなければならない。

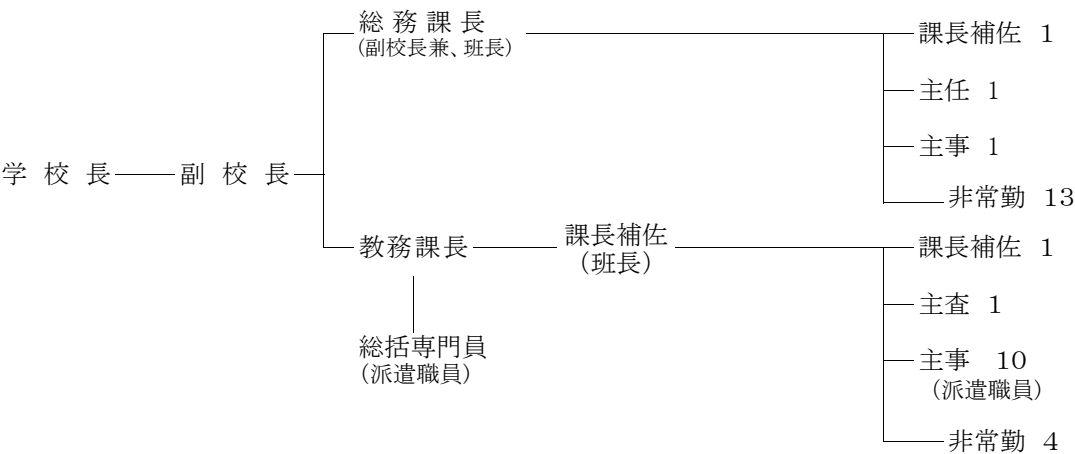
【参考】 全国の消防学校数＝55校(都道府県設置:47校＋指定都市設置:8校)

3 沿革

- 昭和15年(1940) 1月 愛知県警察練習所内で、消防教養訓練開始
- 昭和19年(1944) 4月 愛知県消防練習所設置(名古屋市東区)
- 昭和23年(1948) 3月 消防組織法の施行に伴い愛知県消防訓練所と改称
- 昭和30年(1955) 5月 都市計画により名古屋市中区へ移転
- 昭和39年(1964) 4月 愛知県消防学校と改称
- 昭和39年(1964) 9月 現在地(東春日井郡旭町＝現在の尾張旭市)に新校舎建設
- 昭和39年(1964) 10月 現在地へ移転、開校
- 昭和51年(1976) 4月 防災教育センター竣工
- 昭和52年(1977) 9月 管理教育棟竣工
- 昭和53年(1978) 12月 宿泊棟竣工
- 昭和55年(1980) 12月 屋内訓練場及び水難救助訓練場竣工
- 昭和61年(1986) 3月 レンジャー訓練塔竣工
- 平成 3年(1991) 10月 訓練広場を一部舗装整備
- 平成12年(2000) 9月 宿泊棟の一部改修(女性用寮室に改修)
- 平成16年(2004) 1月 訓練塔取壊し
- 平成20年(2008) 3月 給水塔改修、宿泊棟女子用寮室の改修
- 平成20年(2008) 8月 正面玄関庇上部防水改修
- 平成21年(2009) 3月 管理教育棟屋上の一部及び防災教育センター屋上防水改修
- 平成22年(2010) 3月 管理教育棟屋上防水改修
- 平成28年(2016) 10月 防災教育センター改修

4 組織(令和8年度)

学校長の下に、総務課及び教務課の2課を置く。
職員数38名(うち市町村からの派遣消防職員11名、非常勤職員17名)



5 予算の概要

- 令和7年度:運営費 189,037千円(職員の人件費を除く)
- 令和8年度:運営費 197,242千円(職員の人件費を除く)

6 所在地等

所在地 尾張旭市大字新居5182-1393(〒488-0081)

TEL 0561-53-2015 FAX 0561-52-5427 E-mail shobogakko@pref.aichi.lg.jp

7 学校施設の状況

敷地面積	総延面積	設置年月日	現校舎年月日
70,610.19 m ²	11,679.19 m ²	昭和39年10月1日	昭和52年9月30日

(1)管理教育棟 鉄筋コンクリート造 2階建一部地階 3,020.74m² 昭和52.9.30竣工

施設名	面積 m ²	室数	収容人員	施設名	面積 m ²	室数	収容人員
校長室	48	1	—	講堂	275	1	—
教務室	140	1	—	普通教室	302	4	160
講師控室	48	1	16	特別教室	138	1	—
会議室	52	1	16	化学実験室	148	1	—
宿直室	22	1	—	演習室	240	3	—

(2)宿泊棟 鉄筋コンクリート造 3階建 4,147.07m² 昭和53.12.25竣工

施設名	面積 m ²	室数	収容人員	施設名	面積 m ²	室数	収容人員
寮室	1,210	29	174	洗濯室	28	3	—
食堂	276	1	180	洗面室	100	7	—
厨房室	193	1	—	便所	159	7	—
				訓練大広間	239	1	—

(3)屋内訓練場 鉄骨鉄筋コンクリート造 2階建一部3・4階建 3,471.74m² 昭和55.12.12竣工

施設名	面積 m ²	室数	収容人員	施設名	面積 m ²	室数	収容人員
車庫	642	1	—	待機事務室	35	1	—
屋内訓練場	1,510	1	—	ホースタワー	56	1	—

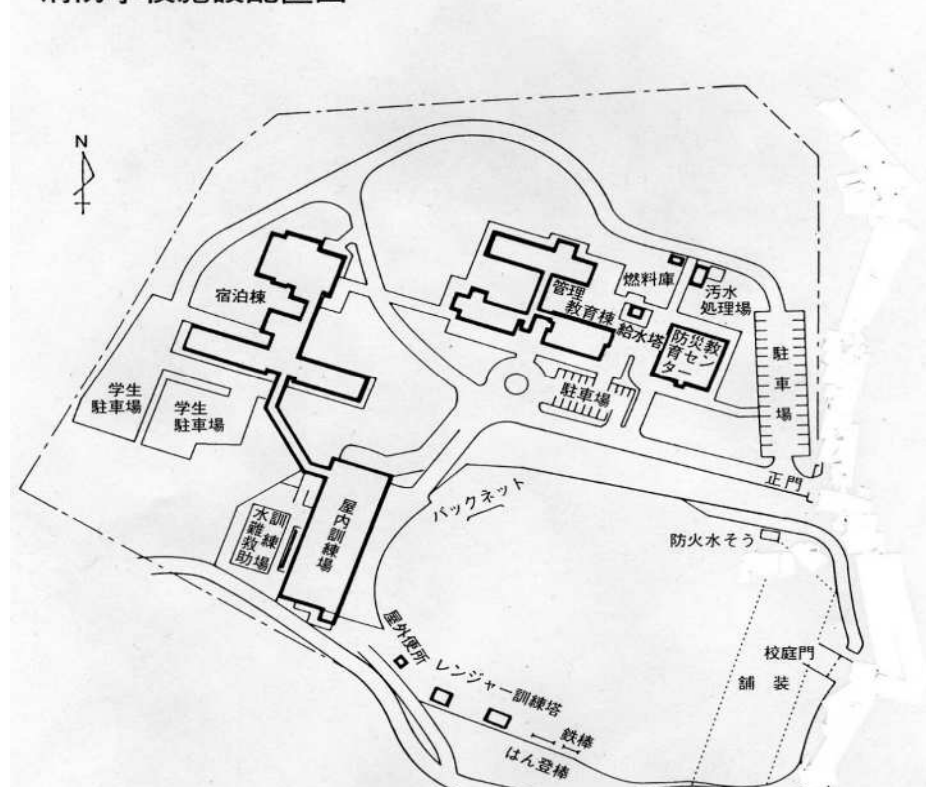
(4)防災教育センター 鉄筋コンクリート造 平屋建 624.47m² 昭和51.4.30竣工

施設名	面積 m ²	室数	収容人員	施設名	面積 m ²	室数	収容人員
展示室	249	1	—	防災学習教室	129	1	—

(5)その他

レンジャー訓練塔	鉄筋コンクリート造 4階建2棟 320.60m ² 昭和61.3.20竣工
水難救助訓練場	25m×14.4m×深さ3m
訓練広場	20,000m ² (うち3,220m ² は透水性カラーアスコン舗装)

消防学校施設配置図



8 教育訓練の概要(令和8年度事業と7年度実績)

令和8年度

科	期	定員	入校予定者数 又は 修了者数	実日 数	実施 時期	備考
消防職員教育	初任科	122期	120	119	115	4/3～ 9/18
		123期	120	109	115	10/1～ 3/25
	警防科	75期	48	48	12	11/5～ 11/20
	危険物科	70期	48	34	5	8/17～ 8/21
	火災調査科	71期	32	32	10	11/30～ 12/11
	救急科	143期	54	47	37	6/17～ 8/7
		144期	54	38	37	11/4～ 12/25
		145期	54	50	37	1/26～ 3/19
	救助科	56期	48	48	20	5/18～ 6/12
	初級幹部科	75期	48	42	10	4/27～ 5/14
	はしご自動車等運用科	43期	24	24	3	8/25～ 8/27
		44期	24	21	3	11/25～ 11/27
	地震防災科	21期	45	32	2	12/17～ 12/18
	指揮隊科	15期	48	44	5	1/7～ 1/14
	外傷・災害対応講習A	46期	36	36	1	1/24
	外傷・災害対応講習B	47期	30	30	1	未定
消防団員教育	警防・機関科	13期	48	23	2	5/16～ 5/17
	初級幹部科	72期	48	35	2	8/22～ 8/23
	指揮幹部科 (現場指揮課程)	14期	48	35	2	10/31～ 11/1
	指揮幹部科 (分団指揮課程)	13期	48	37	2	1/16～ 1/17
	操法個別指導会	—	団単位	150	2	6/6～6/7
	1日入校	—	団単位	14	1	未定
	女性消防団員教育科	17期	42	28	1	11/28
一般教育	自衛防災要員等教育科	104期	78	50	4	1/19～ 1/22
	女性消防クラブ	指導者科	—	60	43	1
		特別教育科	—	—	—	1
	少年消防クラブ指導科	—	1,500	755	3	8/18～ 8/20
計	23 科		2,705	1,924	434	

令和8年5月

令和7年度

科	期	定員	修了 者数	実日 数	実施 時期	備考
消防職員教育	初任科	120期	120	114	115	4/3～ 9/18
		121期	114	99	115	9/29～ 3/24
	警防科	74期	44	44	12	12/2～ 12/17
	予防査察科	68期	48	38	10	9/1～ 9/12
	火災調査科	69期	16	16	10	11/10～ 11/21
	救急科	140期	54	44	37	6/3～ 7/24
		141期	54	28	37	11/4～ 12/25
		142期	54	41	37	1/26～ 3/19
	救助科	55期	48	48	20	10/2～ 10/30
	上級幹部科	74期	48	39	3	5/27～ 5/29
	はしご自動車等運用科	41期	24	23	3	8/5～ 8/7
		42期	24	24	3	11/26～ 11/28
	地震防災科	20期	45	34	2	12/9～ 12/10
	指揮隊科	14期	40	39	5	1/8～ 1/15
	外傷・災害対応講習A	43・44期	72	73	2	9/24・ 9/25
	外傷・災害対応講習B	45期	30	29	1	11/8
消防団員教育	水難救助科	54期	26	26	10	8/18～ 8/29
	警防・機関科	12期	48	39	2	5/31～ 6/1
	初級幹部科	71期	48	18	2	8/2～ 8/3
	指揮幹部科 (現場指揮課程)	13期	48	33	2	11/1～ 11/2
	指揮幹部科 (分団指揮課程)	12期	48	35	2	1/17～ 1/18
	操法個別指導会	—	団単位	146	2	6/21～ 6/22
	1日入校	—	団単位	5	1	2/9
一般教育	女性消防団員教育科	16期	42	16	1	11/22
	自衛防災要員等教育科	103期	78	53	4	1/20～ 1/23
	女性消防クラブ	指導者科	—	60	46	1
		特別教育科	—	—	—	1
	少年消防クラブ指導科	—	1,500	434	2	7/30は愛知県外海に津波警報が発表されたため中止
計	24 科		2,733	1,584	442	

9 防災教育センターの利用状況

(1)令和7年度(実績)

利用件数	利用人員	備考
67件	1,492人	

(2)令和6年度(実績)

利用件数	利用人員	備考
59 件	1,635 人	